

平成30年度第4回7月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成30年7月12日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員4名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	荒川政利
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	編成部長	大谷佳久
	報道制作部	加藤拓也

4. 議 題

(1) 「Accent -アクセント-」について

毎週月～木曜 13:00～15:55

(平成30年4月5日(木)～6月28日(木)放送分(抜粋))

報道制作部 加藤拓也

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「Accent -アクセント-」について

試聴番組：4月5日(木)～6月28日(木)に放送した番組を予め試聴。

議題説明：報道制作局加藤が番組の企画・制作内容について説明した。

他のことをしながらでも気軽に聴くことができる番組。日常の中で行ってみようかと思えるような場所やイベントなどを紹介しているなど番組コンセプトを説明して審議に入る。

各委員からは、

- トレンドや観光情報、映画の紹介をしている松井アナは安心感がある。阿久津アナのオープニングはやり取りが気になった。小山や長野に限らず様々な情報を入れてほしい
- 阿久津アナはさすがだと思うが、オープニングは不快に思った。松井アナの映画の紹介は良かった。サッカーの話題について聞きかじったように話をしていた中途半端な感じがした。昼の番組として様々な情報があるのは良いと思うのもっと掘り下げてほしい。
- 昼の番組なのに阿久津アナのオープニングは気になった。「ホンモノとちぎ」のコーナーは良い。このような情報を発信してほしい。思川インフォメーションは掛け合いが良かった。
- 阿久津アナはさすがベテランという感じだった。行き過ぎたところを止められると良い。松井アナは映画のコーナーでリスナーに想像させてくれて良い。篠田アナの出演者との掛け合いの部分も良かったが、イベント参加者の生の声があるともっと良い。
- 「ホンモノとちぎ」のコーナーについて、アフターDCもあるので8月以降も内容を変更しない方が良い。
- まだ様々な情報があると思うので「ホンモノとちぎ」のコーナーに限らず、県内の情報をどんどん取り上げてほしい。
- 生中継のコーナーをなぜこの日にここではさむのか、意味がよくわからなかった。背景のコメントがあるとわかりやすくなる。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(平成30年7月22日(日) 午前8時5分放送)
- ② 社のホームページに掲載(平成30年7月31日～)
- ③ 社事務局に議事録備え置き(平成30年7月31日～)

以上